

シビックセンターたからやオープン



「倉吉室内合奏団」によるオープニングコンサート



講演する岸田理事長

9月25日、公益的な市民活動、福祉活動、地域資源を活用する活動拠点として、シビックセンターたからやがオープンしました。

この日は、午後1時からオープニングセレモニーのあと、この施設を指定管理者として管理運営する特定非営利活動法人未来の岸田寛昭理事長が、「自立事業型NPOをめざして」と題して講演され、今後NPOが社会サービスを担っていくことの必要性について話をされました。

と き：11月7日（日）
（開場：午前9時）

ところ：倉吉市営野球場
（グリーンスタジアム倉吉）



プログラム

9:00～	開 場
9:30～11:45	少年少女ふれあい野球教室
10:30～11:30	ふれあい講演会 （野球教室とは別会場で開催）
12:00～12:15	ドリーム抽選会
12:30～12:50	開会式
13:00～13:30	アトラクション （プロに挑戦、ホームラン競争）
13:30～15:00	ドリームゲーム
15:00～	閉 会

入場整理券の配布

このドリームベースボールは入場無料としていますが、入場に際しては、整理券が必要です。入場整理券は次の場所で配布しています。

入場整理券配布場所：

倉吉市教育委員会・関金町教育委員会・倉吉スポーツセンター・倉吉交流プラザ・倉吉市内地区公民館で配布します。

なお配布枚数は、数に限りがありますので、必要な枚数とさせていただきます。

問い合わせ先：倉吉市教育委員会体育振興課（☎22-8167）

ドリーム・ベースボールの内容については、10月1日号と一緒にチラシを班回覧しております。

ボランティアスタッフ募集！

このイベントにボランティアとして協力していただけるスタッフを募集します。皆様のご協力をお願いします。

募集期限：10月15日（金）まで 募集対象：高校生以上
募集人数：200人程度 ボランティア期間（A～D各50人）

【A】11月6日（土）午前8時～午前12時

【B】11月6日（土）午後1時～午後5時

【C】11月7日（日）午前8時～午前12時

【D】11月7日（日）午前12時～午後4時

仕事内容：会場設営、会場整理、駐車場係等

問い合わせ先：倉吉市教育委員会体育振興課

（倉吉市一ツ木町内）（☎22-8167 ☎22-5684）

韓国語講座 受講生募集!

気分はもう「冬のソナタ」

市では国際交流事業の一環として市民向けの韓国語講座を実施します。

ハンガルの学習だけでなく、韓国の文化、歴史、習慣などに接することで、国際的な視野を広げてみませんか。是非ご参加ください。

【初級コース】

文法の基礎及び簡単な会話

期 間：10月19日(火)から毎週火曜日全12回

時 間：午後6時30分～7時30分

会 場：倉吉交流プラザ2階第1研修室

募集人員：40人程度

(定員になり次第締め切り)

【中級コース】

日常会話や短い文章の読み書き

期 間：10月19日(火)から毎週火曜日全12回

時 間：午後7時45分～8時45分

会 場：倉吉交流プラザ2階第1研修室

募集人員：40人程度

(定員になり次第締め切り)

講 師：倉吉市・関金町国際交流員

韓 召真(両コースとも)

受講料金：無料(但しテキスト代は個人負担)

申込・問い合わせ先：

企画課 ☎22-8161 / ☎22-8144

E-mail : kikaku@city.kurayoshi.tottori.jp

三回目となった打吹天女市民音楽祭のフィナーレを飾った「翼をください」そして「ふるさと」の合唱に拍手が鳴り止みませんでした。舞台の袖で一日中、見守っておられたまちづくり協議会の福田会長の姿がありました。年間百万人が利用する倉吉未来中心を核としたパークスクエアを中心に文化とにぎわいのまちづくりが確実に広がっています。九月議会では旧牧田家淀屋の調査を行い、建築物と歴史上の価値の共有を図ることとしました。今後、保存、活用策を探るうえで、市民合

意 支えが必要となってくるからです。「スーパータカラヤ」を一新し、市民の運営による「シビックセンター」たからや」がオープンしました。二千㎡の広々としたワンフロアーを二十団体が杉板の間仕切りで活動が始まりました。これらはすでに市民みずからによるまちづくりが進められています。さらに十月に入ると三日にゴミゼロ全市一斉清掃、八日はライオンズ奉仕デーとして法華寺畑遺跡で、十七日にはライオンズ奉仕デーとして倉吉駅周辺の清掃活動が予定されています。まちづくりがまちへの愛着をもつ市民がどれだけ育っているか、人づくりであるといわれる由縁です。また、雪の残る時期、みなさんから郵送で「関金町との合併を推進すべき」との意思表示を受けて以来、地域発展を願い議論を重ね、自立して得る地方自治体への好機として合併調印に至りました。

新しい生命



©谷口シロー『遙かな町へ』小学館

倉吉市長 長谷川稔

人権尊重都市宣言のまち倉吉

部落解放
シリーズ 612

「知らないって怖い事です」

白血病についてご存じですか？直接自分や家族、友人等がその病気にならないと、その病気について詳しく知る機会や関心を持つ事がないことで、誰かの心に傷をつけているようなことはないでしょうか。

白血病や再生不良性貧血などの病気によって、正常な造血が行われなくな

った患者さんの骨髓幹細胞を、健康な方の骨髓幹細胞と入れ替えることによって、造血機能を回復させる「骨髓移植」という治療法があります。この骨髓移植を必要としている患者さんは、毎年少なくとも二千人以上。そして、ドナー候補者が見つからない患者さんが、約一割にものぼります。

皆さんも、テレビで、「急性骨髄性白血病」に冒され、二十七歳という若さで短い生涯を閉じた女性 夏目雅子さんの映像とともに、「骨髓バンクにご協力ください。骨髓バンクにご登録ください。」という内容のCMを見られたことがあるかと思えます。私は、この骨髓バンクにドナー登録をしてくださる方を一人でも多くしようというボランティア活動(鳥取県骨髓バンクを支援する会)に参加しています。

このボランティア活動を通じて知り合った友人は、骨髓移植によって白血病を治療し、元気になったにもかかわらず、友達の生まれて間もない赤ちゃんを抱くこととしたところ、その友達に「白血病がうつるから抱かないで」と言



われ、赤ちゃんを抱くことが出来なかった事があるそうです。

白血病は、感染する病気ではありません。友人は病気について説明したそうですが、とても傷ついた事は言うまでもありません。赤ちゃんを思う親として言った言葉でも、病気について正しい知識を持っていなかったために、病気で苦しんだ友人を傷つけてしまったのです。

正しく知らないで分かったようにふるまうことはとても怖いことです。もっと正しく知っていれば、病気等で苦しんでいる人達を傷つけることも少なくなるのではないのでしょうか。

もちろん、様々な病気があります。でも、自分に直接関わらない事でも、少し気に留めて医学情報等から学びたいものです。特に、HIV等の感染症やハンセン病、難病などにかかっている人に対する差別や偏見をなくするため、病気に対する正しい知識を学び理解することで、病人を傷つけないやさしい言動につながるのではないのでしょうか。

(部落解放・人権委員資料作成委員会 保木本)

